

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 教授	氏名 加藤良徳	大学院における研究 指導担当資格の有無	無	
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
大阪体育大学「言語活動」での実践		平成26年4月～	基礎的な日本語運用能力を身につけると共に、大学でレポートを書く際の基本的なルールを講義し、実際にそれらを使えるようになるまで、実践演習を行っている。日本語検定3級合格を目指す。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
『大体大教育学部生のプライド 社会に飛び立つために』		平成29年9月	学生の読書離れが叫ばれて久しい。学生に読書に親しんでもらうにはどうしたらいいのか。教育学部国語科では、国語科概論Ⅰ・Ⅱの授業の最初に、「大福帳」を用いた読書シェアを毎時間行っている。そのような折りに、読んだらいい本を教えて欲しいという声が多くあったため、国語科教員2名(上月敏子・加藤良徳)で作成した読書案内である。全177冊が、写真と解説とともに載せてある。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
日本語検定 作問委員		平成22年～	小学生から大学生・社会人向け日本語検定問題の作問。1～6級の問題に関して、「総合問題」、「敬語」、「文法」の分野で主に出題。		
II 研究活動					
著書(単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書(共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
ある参加型のゲシュタルト療法グループにおいて、育児不安を抱えた参加者は何を体験し、どのような変容をしているのか	加藤良徳・野妻裕美・酒井志保	ゲシュタルト療法研究	12	37頁-478頁	令和4年8月
社会人は小説執筆を通してどのような体験をしているのかー文学学校夜間部通学者の場合ー	加藤良徳	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	10	1頁～19頁	平成26年3月
大道芸ワールドカップin静岡で市民クラウンはどのような体験をしているのかーコミュニケーションに翻弄されないためのヒントー	加藤良徳	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	11	1頁～19頁	平成27年3月
教師志望から進路変更した体育大学学生はどのような体験をしているのかー学生の「迷い」に寄り添うキャリア支援のためにー	加藤良徳	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	12	25頁～55頁	平成28年3月
教師向きだと大学教員が認める優秀な学生は、何を考え、どのような体験をしているのかー体育大学の教育学部学生の場合ー	加藤良徳	大阪体育大学教育学部紀要	1	1頁～17頁	平成29年3月
地方時自体主催の教師塾で学生はどのような体験をしているのかー今後の教師教育を考えるためのヒントー	加藤良徳	大阪体育大学教育学部紀要	3	25頁～46頁	平成31年3月
授業が楽しいと感じられない学生は、何を考え、どのような体験をしているのかー体育大学の教育学部学生の場合ー	加藤良徳	大阪体育大学教育学部紀要	4	13頁～35頁	令和2年3月
ゲシュタルト療法トレーニングコースで受講生は、何を考え、どのような体験をしているのかーあるトレーニングコース参加者のインタビュー結果からー	加藤良徳	ゲシュタルト療法研究	11	23頁～32頁	令和3年8月
実践論文					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
授業が楽しいと感じられない学生は、何を考え、どのような体験をしているのかー体育大学の教育学部学生の場合ー	加藤良徳	大阪体育大学教育学部紀要	4	13頁～35頁	令和2年3月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）							
区分	題名	著者		誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
実践報告	“出来ないこと”が魅力に変わる！クラウン（道化師）を育てる白井博之さんに聞く、自分らしく自由に生きるコツ	単	加藤良徳	ウェブマガジン「greenz.jp」		5000字	平成28年1月
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）							
区分	年月	学会名		演題名	場所	発表者名	
国内（課題研究）	令和3年7月	日本ゲシュタルト療法学会		CFOをアップデートするーなぜ、今、新しいリフレクション法が必要なのかー	学会（ウェブ開催）	加藤良徳	
科学研究費等の取得状況							
科学研究費/その他の助成金/外部資金							
区分	種類	題目		代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
特許							
特許名称		発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動							
期 間			内 容				
加入学会							
日本ゲシュタルト療法学会			編集委員				
社会的活動							
Ⅳ 管理活動							
期 間			内 容				
委員会活動							
特別プロジェクト活動							
Ⅴ クラブ活動の指導業績							
1. 指導クラブ名	部		2. 役職	3. 部員数		人	
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない						
5. 合宿指導	年間合宿回数：		回	延べ日数：		日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない						
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない						
8. 部員の就職指導への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない						
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所			
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）							
開 催 期 間		大 会 名		成 績		場 所	
Ⅵ 賞罰（職務に関する賞罰）							
年 月	受賞等機関名		内 容			備 考	